

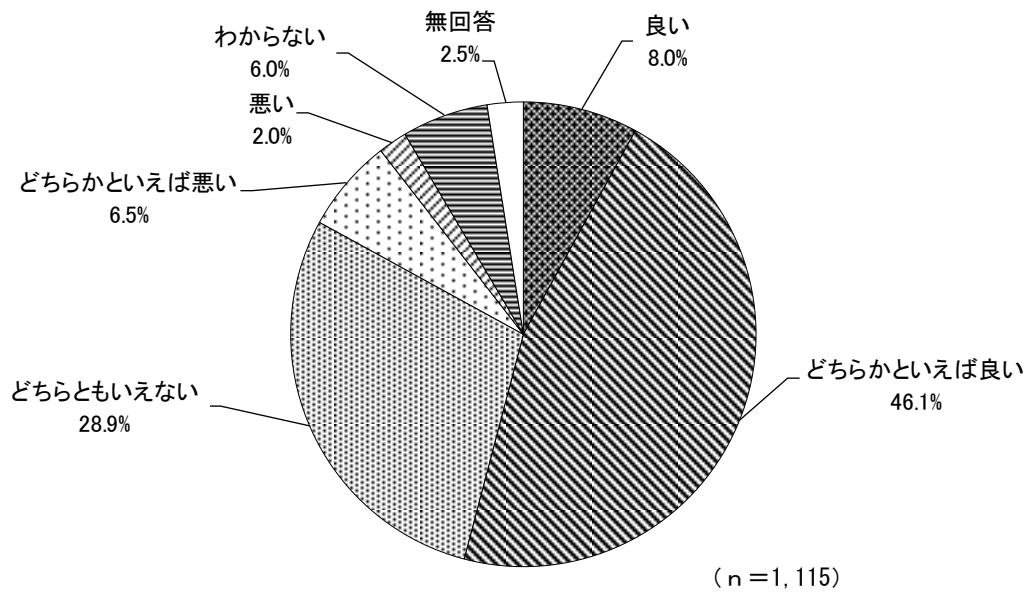
15 犯罪と治安対策について

(1) 県内の治安状況への認識

問41 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

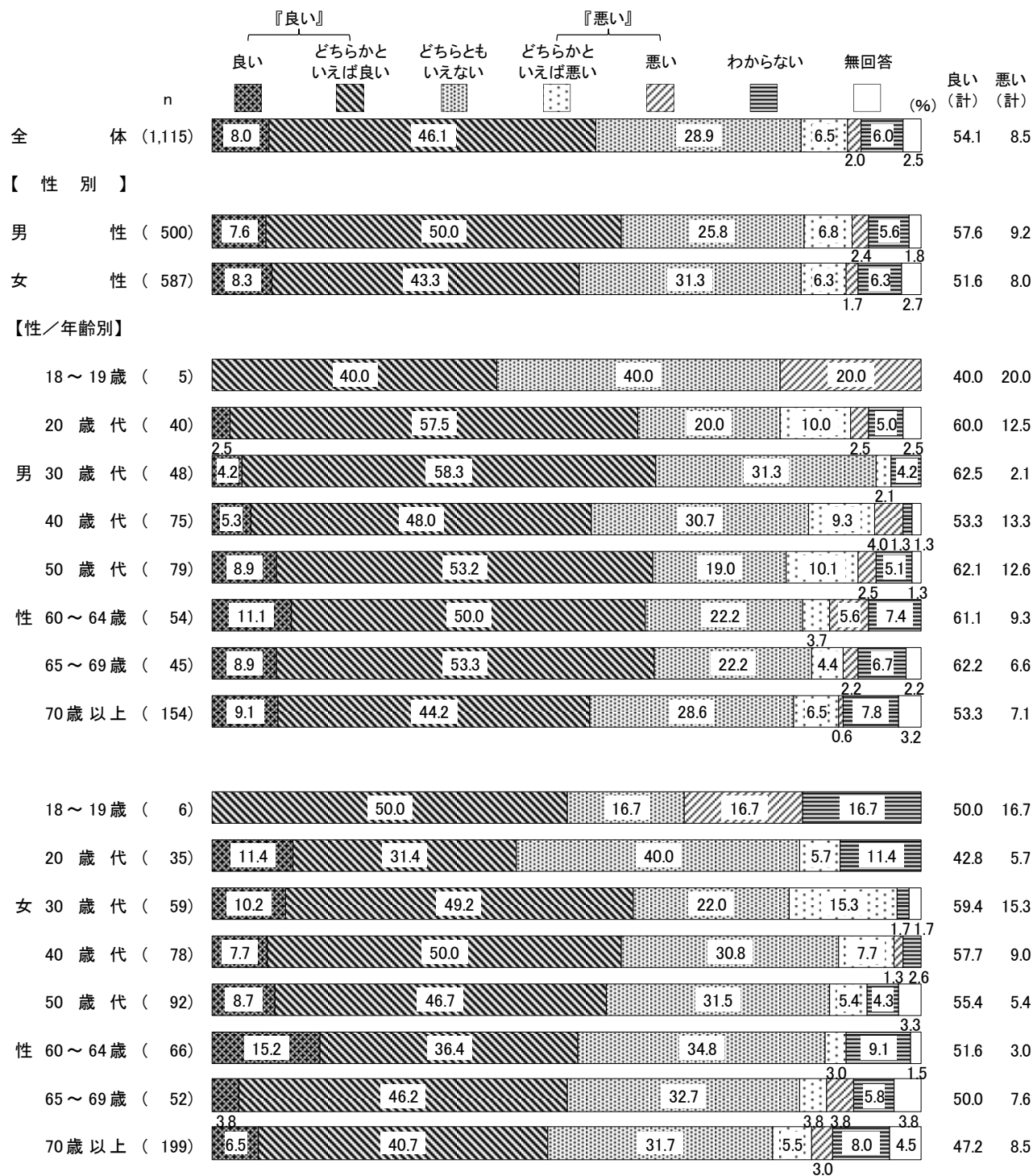
[n=1,115]

1 良い	8.0%	4 どちらかといえば悪い	6.5%
2 どちらかといえば良い	46.1	5 悪い	2.0
3 どちらともいえない	28.9	6 わからない	6.0
		(無回答)	2.5



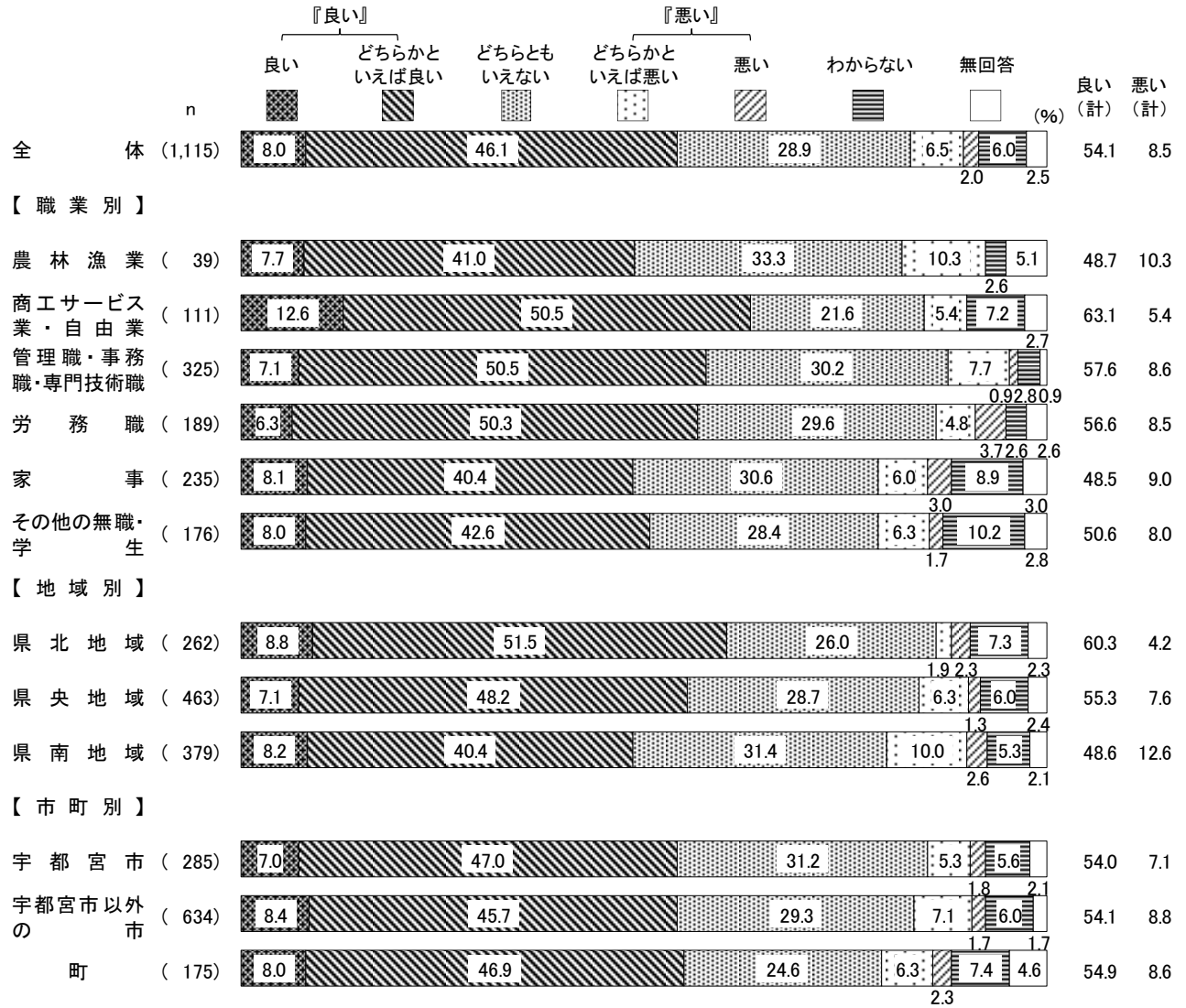
全体でみると、「良い」(8.0%)と「どちらかといえば良い」(46.1%)の2つを合わせた『良い』(54.1%)が5割台半ば近くとなっている。一方、「どちらかといえば悪い」(6.5%)と「悪い」(2.0%)の2つを合わせた『悪い』(8.5%)が1割近くとなっている。また、「どちらともいえない」(28.9%)が3割近くとなっている。

[性別・性／年齢別]



性別でみると、『良い』では〈男性〉(57.6%)が〈女性〉(51.6%)より6.0ポイント高くなっている。
 性／年齢別でみると、「どちらかといえば良い」では〈男性30歳代〉が58.3%、〈男性20歳代〉が57.5%と高くなっている。「どちらともいえない」では〈女性20歳代〉が40.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



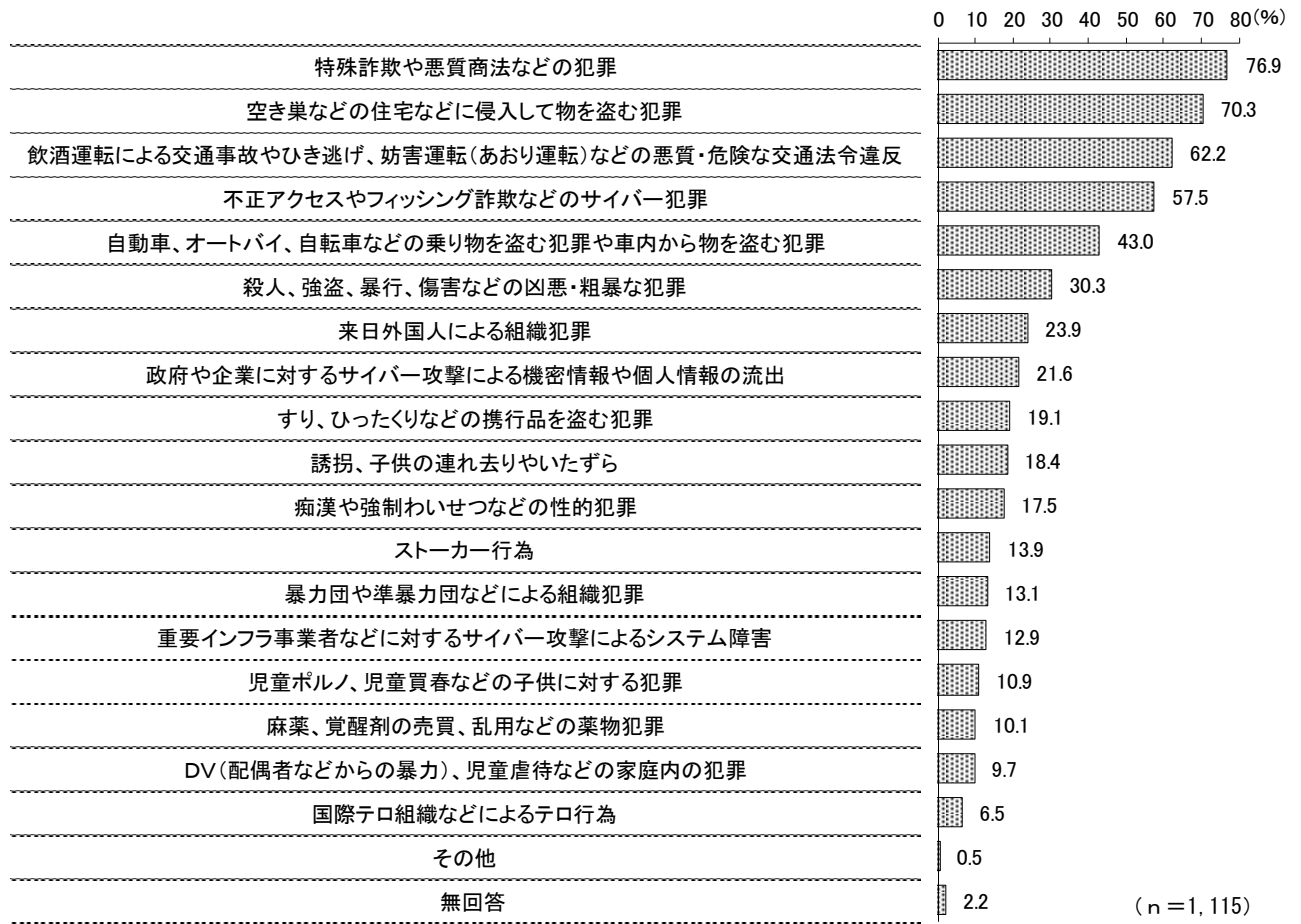
職業別でみると、『良い』では〈商工サービス業・自由業〉が63.1%と高くなっている。
 地域別でみると、『良い』では〈県北地域〉が60.3%と高くなっている。
 市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 不安を感じる犯罪

問42 社会が変化する中、あなたが、自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安になる犯罪などは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

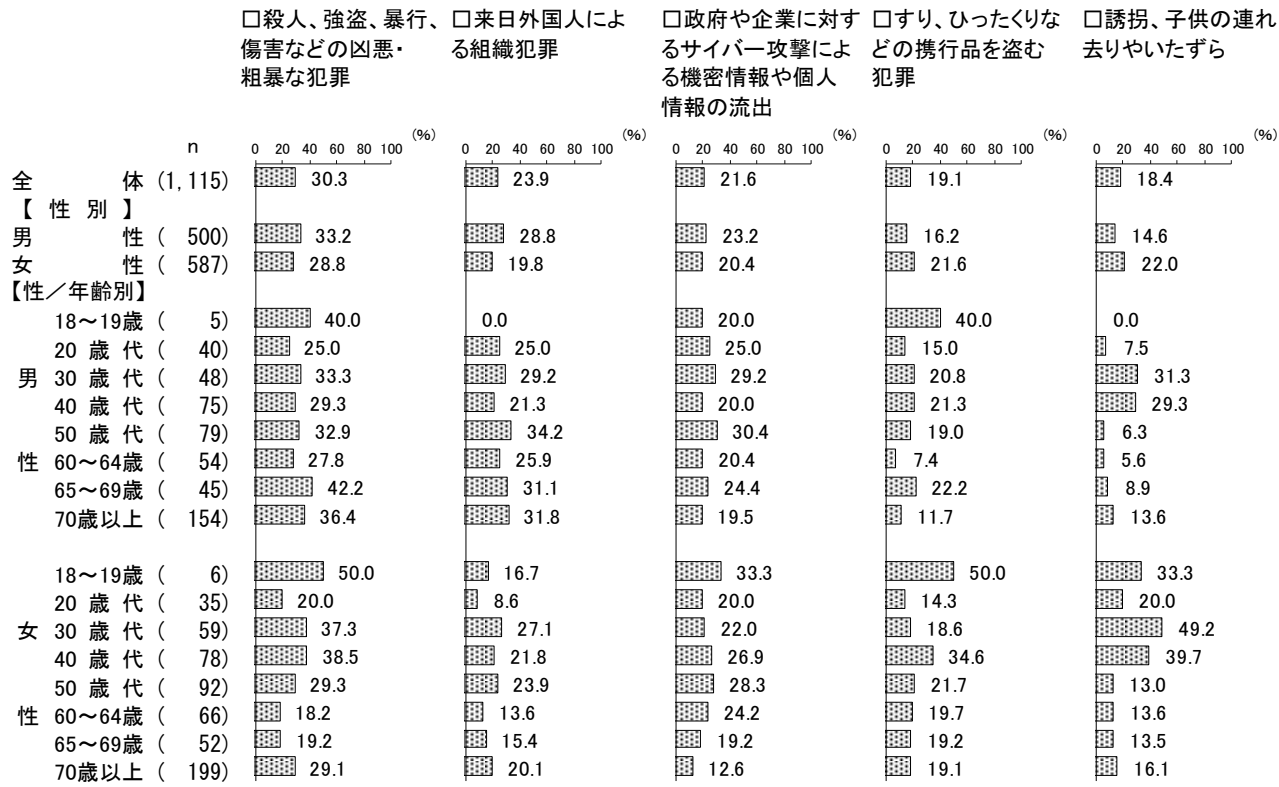
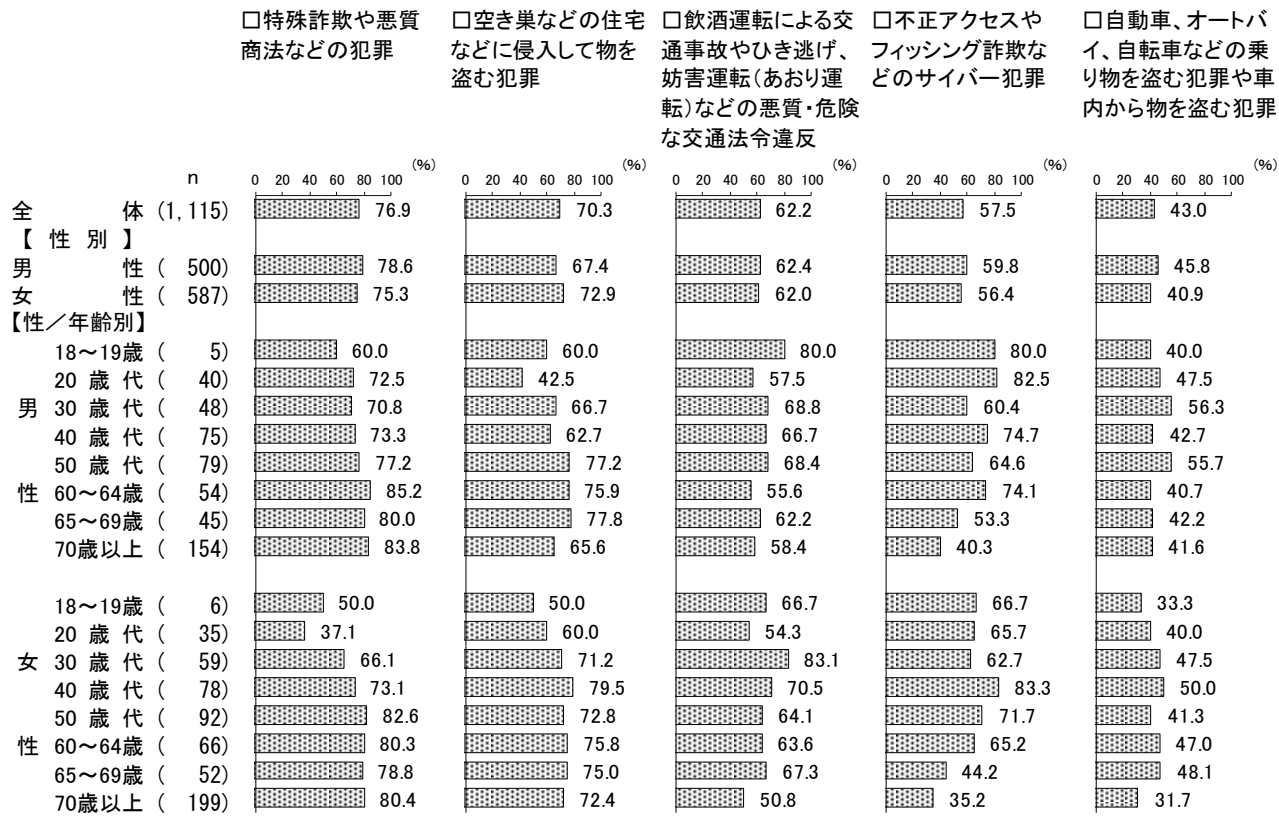
1	特殊詐欺や悪質商法などの犯罪	76.9%
2	不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪	57.5
3	飲酒運転による交通事故やひき逃げ、妨害運転（あおり運転）などの悪質・危険な交通法令違反	62.2
4	殺人、強盗、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪	30.3
5	空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪	70.3
6	自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪	43.0
7	政府や企業に対するサイバー攻撃による機密情報や個人情報の流出	21.6
8	DV（配偶者などからの暴力）、児童虐待などの家庭内の犯罪	9.7
9	誘拐、子供の連れ去りやいたずら	18.4
10	麻薬、覚醒剤の売買、乱用などの薬物犯罪	10.1
11	来日外国人による組織犯罪	23.9
12	すり、ひったくりなどの携行品を盗む犯罪	19.1
13	児童ポルノ、児童買春などの子供に対する犯罪	10.9
14	痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪	17.5
15	重要インフラ事業者などに対するサイバー攻撃によるシステム障害	12.9
16	ストーカー行為	13.9
17	国際テロ組織などによるテロ行為	6.5
18	暴力団や準暴力団などによる組織犯罪	13.1
19	その他	0.5
	(無回答)	2.2

【令和5(2023)年】



全体で見ると、「特殊詐欺や悪質商法などの犯罪」(76.9%)が7割台半ばを超えて最も高く、次いで「空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪」(70.3%)、「飲酒運転による交通事故やひき逃げ、妨害運転(あおり運転)などの悪質・危険な交通法令違反」(62.2%)、「不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪」(57.5%)、「自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」(43.0%)の順となっている。

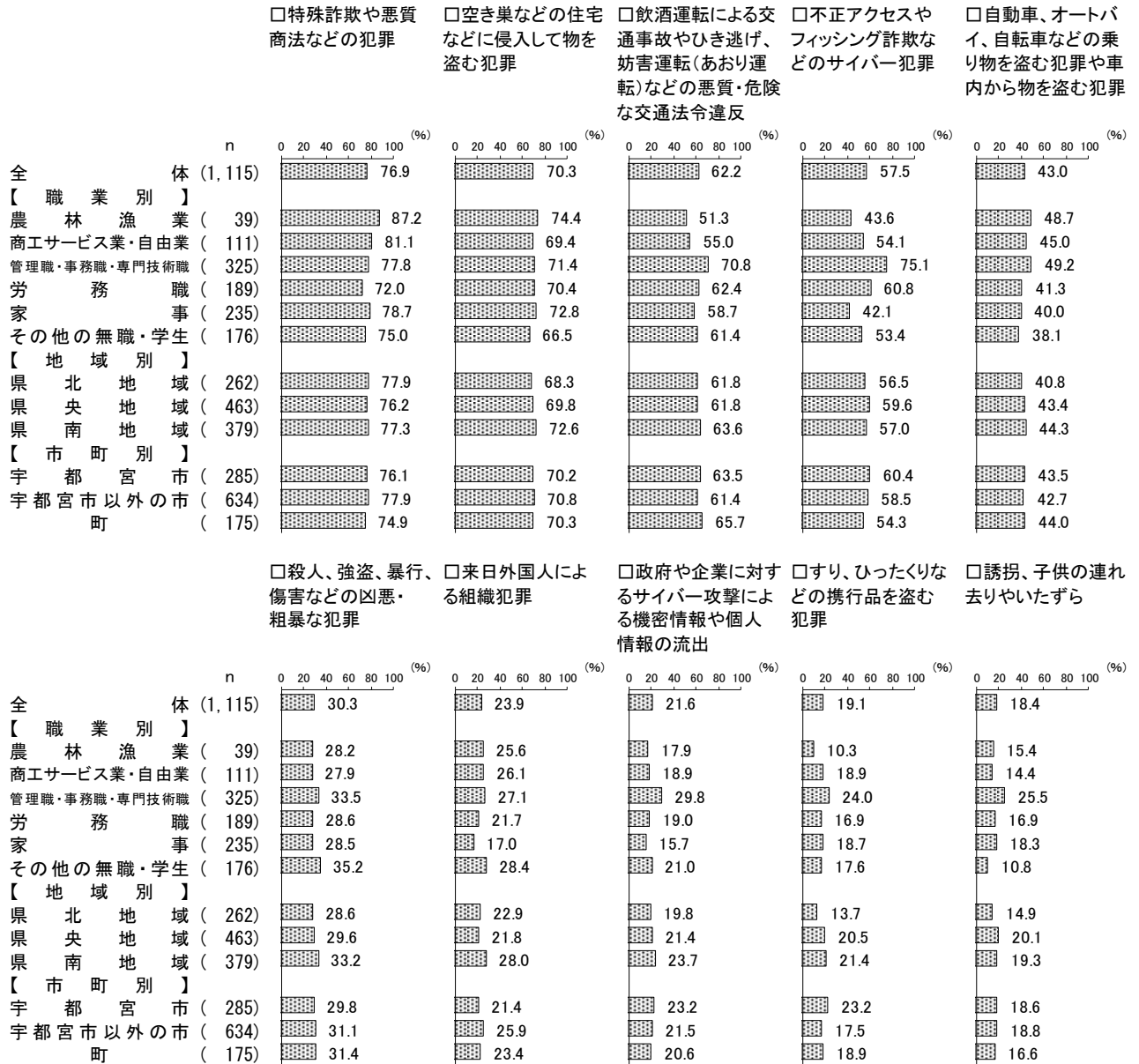
[性別・性／年齢別] (上位10項目)



性別で見ると、「来日外国人による組織犯罪」では〈男性〉(28.8%)が〈女性〉(19.8%)より9.0ポイント高くなっている。一方、「誘拐、子供の連れ去りやいたづら」では〈女性〉(22.0%)が〈男性〉(14.6%)より7.4ポイント高くなっている。「空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪」では〈女性〉(72.9%)が〈男性〉(67.4%)より5.5ポイント高くなっている。「すり、ひったくりなどの携行品を盗む犯罪」では〈女性〉(21.6%)が〈男性〉(16.2%)より5.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「飲酒運転による交通事故やひき逃げ、妨害運転（あおり運転）などの悪質・危険な交通法令違反」では〈女性30歳代〉が83.1%と高くなっている。「不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪」では〈女性40歳代〉が83.3%と高くなっている。「自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」では〈男性30歳代〉が56.3%と高くなっている。「殺人、強盗、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪」では〈男性65～69歳〉が42.2%と高くなっている。「来日外国人による組織犯罪」では〈男性50歳代〉が34.2%と高くなっている。「すり、ひったくりなどの携行品を盗む犯罪」では〈女性40歳代〉が34.6%と高くなっている。「誘拐、子供の連れ去りやいたずら」では〈女性30歳代〉が49.2%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別] (上位10項目)



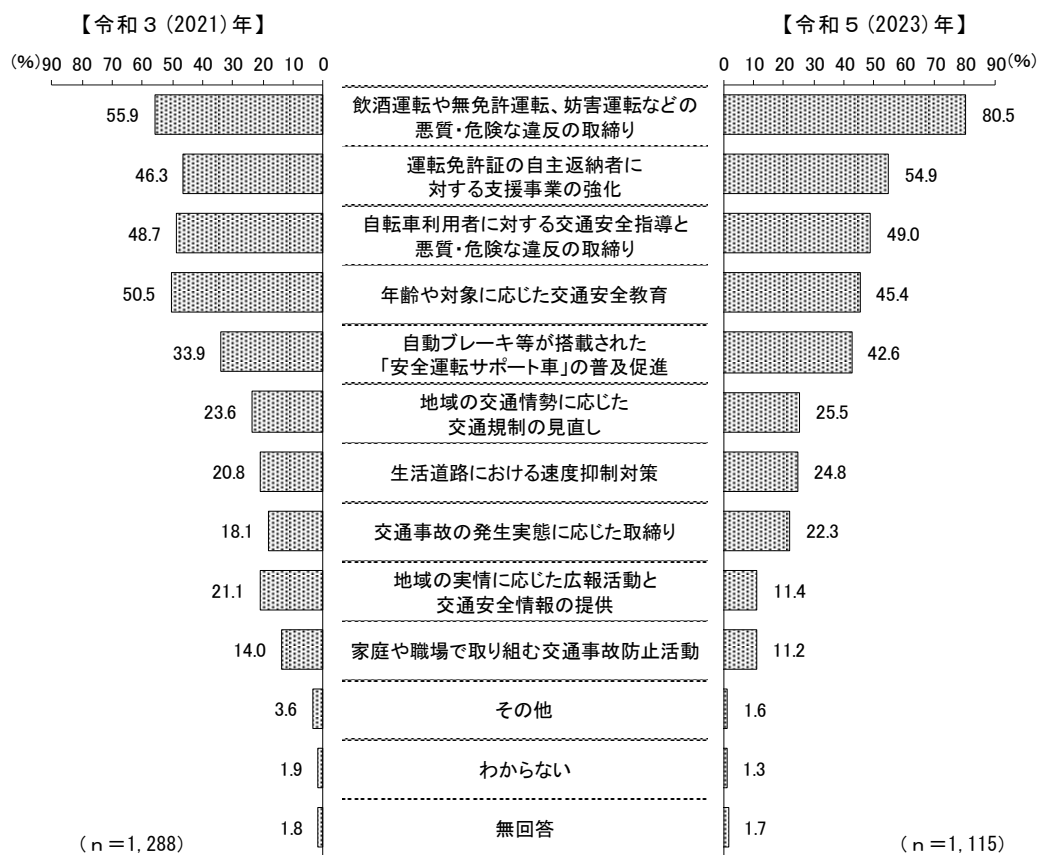
職業別でみると、「特殊詐欺や悪質商法などの犯罪」では〈農林漁業〉が87.2%と高くなっている。「飲酒運転による交通事故やひき逃げ、妨害運転(あおり運転)などの悪質・危険な交通法令違反」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が70.8%と高くなっている。「不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が75.1%と高くなっている。「自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が49.2%と高くなっている。「政府や企業に対するサイバー攻撃による機密情報や個人情報の流出」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が29.8%と高くなっている。「誘拐、子供の連れ去りやいたずら」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が25.5%と高くなっている。

地域別・市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 交通事故を抑止するための対策

問43 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

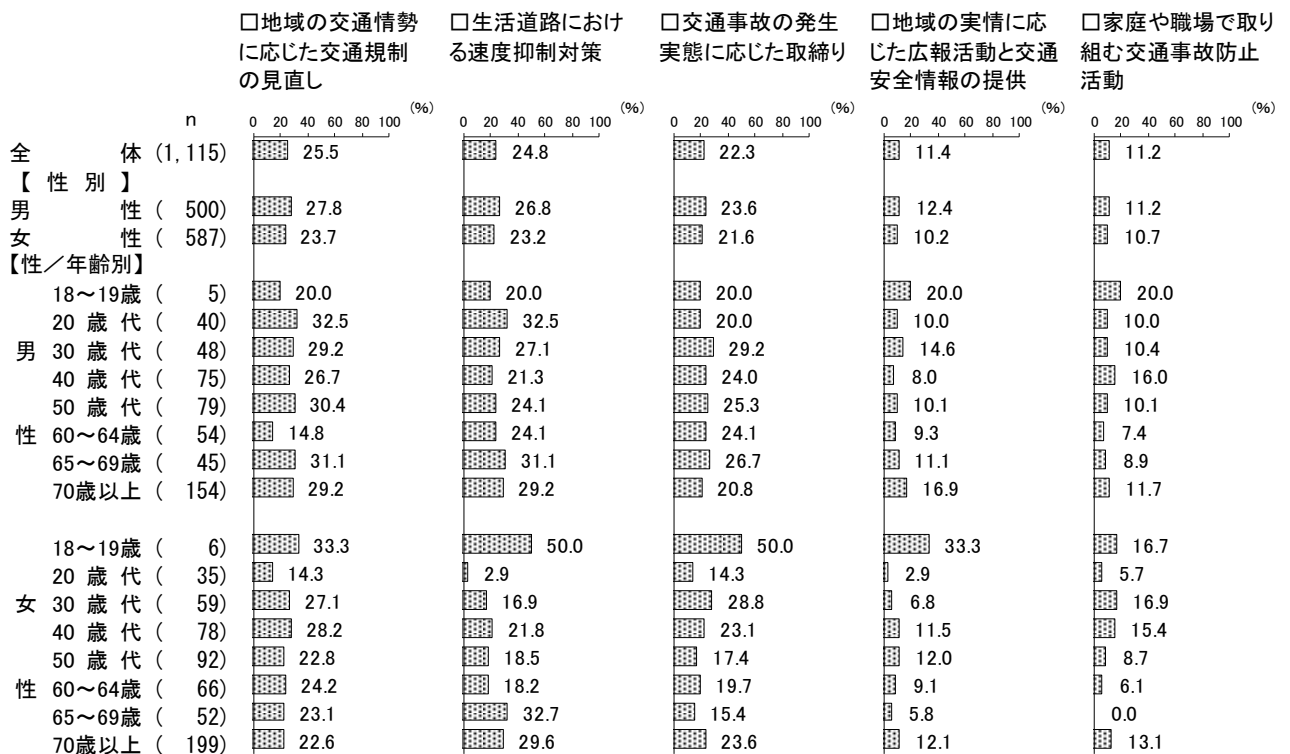
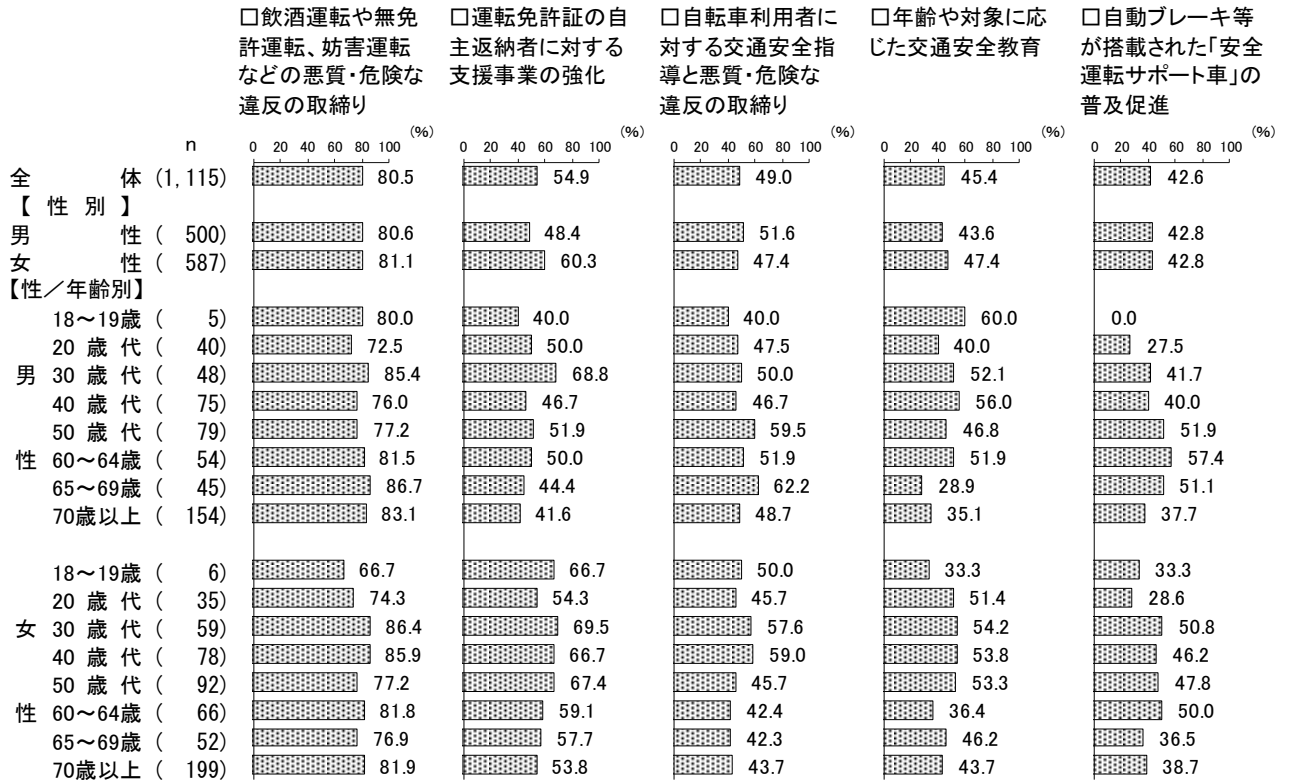
1	飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの悪質・危険な違反の取締り	80.5%
2	年齢や対象に応じた交通安全教育	45.4
3	自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り	49.0
4	運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化	54.9
5	自動ブレーキ等が搭載された「安全運転サポート車」の普及促進	42.6
6	地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し	25.5
7	地域の实情に応じた広報活動と交通安全情報の提供	11.4
8	生活道路における速度抑制対策	24.8
9	交通事故の発生実態に応じた取締り	22.3
10	家庭や職場で取り組む交通事故防止活動	11.2
11	その他	1.6
12	わからない	1.3
	(無回答)	1.7



全体で見ると、「飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの悪質・危険な違反の取締り」(80.5%)が約8割で最も高くなっている。次いで、「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」(54.9%)、「自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り」(49.0%)、「年齢や対象に応じた交通安全教育」(45.4%)、「自動ブレーキ等が搭載された「安全運転サポート車」の普及促進」(42.6%)の順となっている。

前々回（令和3（2021）年）の調査結果と比較すると、「飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの悪質・危険な違反の取締り」が24.6ポイント、「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」が8.7ポイント、「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」が8.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「地域の実情に応じた広報活動と交通安全情報の提供」が9.7ポイント減少している。

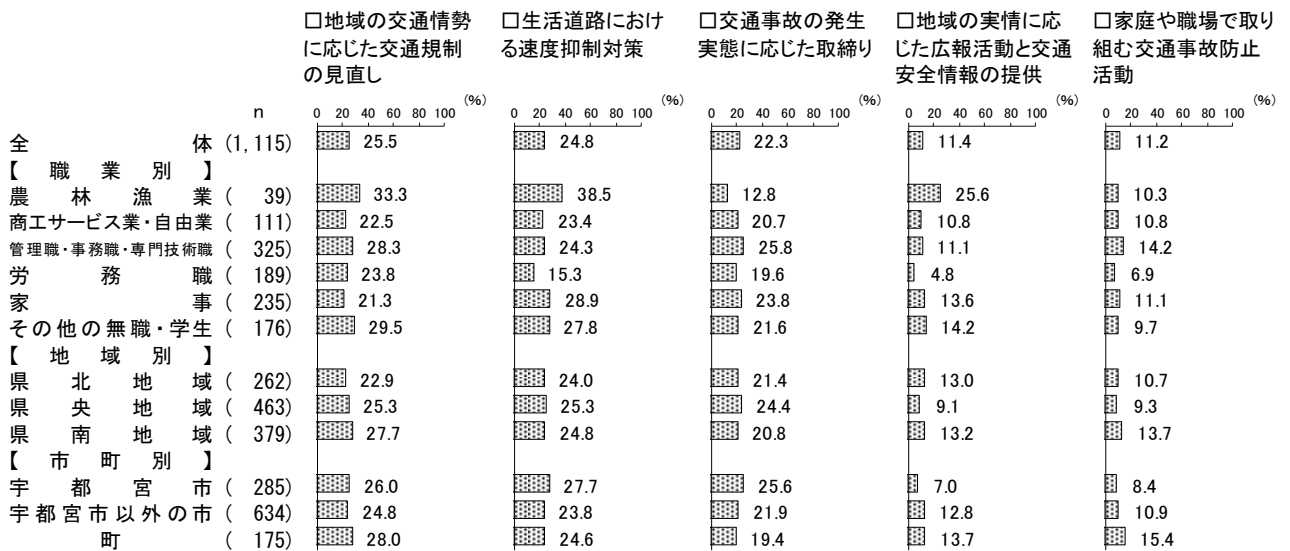
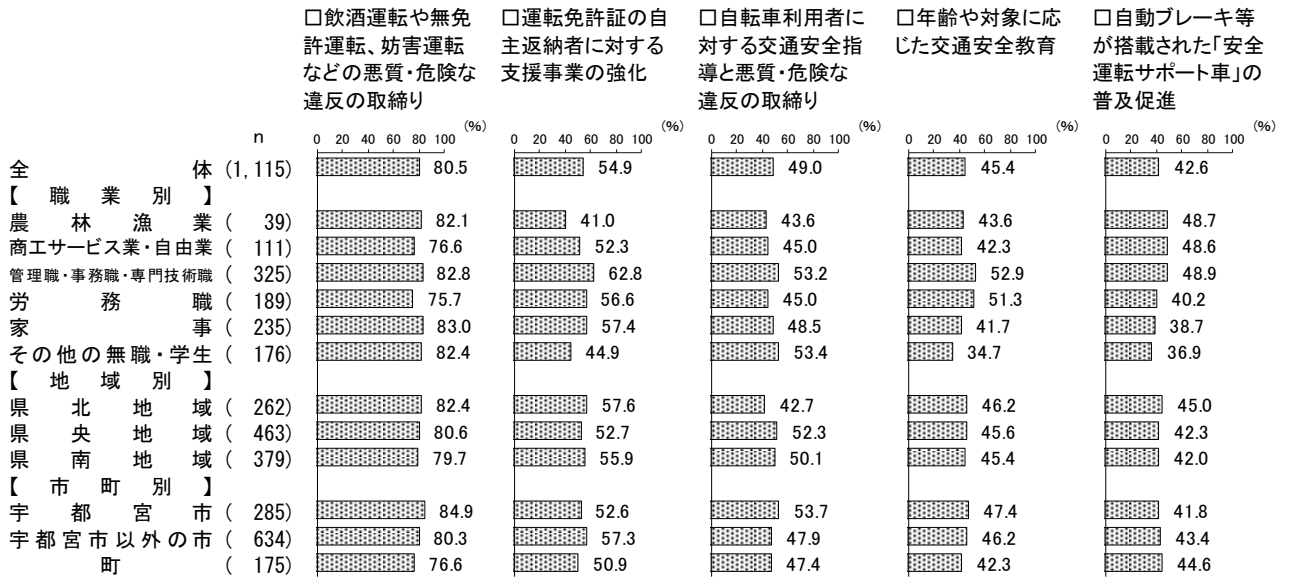
[性別・性／年齢別] (上位10項目)



性別でみると、「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」では〈女性〉(60.3%)が〈男性〉(48.4%)より11.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」では〈女性30歳代〉が69.5%と高くなっている。「自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り」では〈男性65～69歳〉が62.2%と高くなっている。「年齢や対象に応じた交通安全教育」では〈男性40歳代〉が56.0%と高くなっている。「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」では〈男性60～64歳〉が57.4%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別] (上位10項目)



職業別でみると、「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が62.8%と高くなっている。「年齢や対象に応じた交通安全教育」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が52.9%と高くなっている。「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が48.9%と高くなっている。「地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し」では〈農林漁業〉が33.3%と高くなっている。「生活道路における速度抑制対策」では〈農林漁業〉が38.5%と高くなっている。「地域の実情に応じた広報活動と交通安全情報の提供」では〈農林漁業〉が25.6%と高くなっている。

地域別・市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。